

2006年度 早稲田大学 人間科学部

日本史 解答

I 古代の都城 <やや易>

問1 1イ 2ウ 3カ

問2 1ウ 2カ 3イ

問3カ 問4ア・エ 問5ア 問6エ・オ 問7オ 問8ア

問9イ 問10ウ・オ 問11オ 問12エ

第一文学部でも同じテーマが出題されていた。早稲田にしてはめずらしく地図が出されたが、定番問題なので非常にやさしかった。問11のみ、やや難しい。

II 中世の政治 <やや易>

問1ア 問2エ 問3ウ 問4ウ 問5ア・エ

問6ア 問7イ 問8エ 問9オ 問10ウ

問11オ 問12オ 問13イ 問14ウ 問15エ 問16イ

早大入試では定番の史料をまじえつつ、見慣れたテーマの問題であった。問6のみ、やや難しい。消去法で解けたかどうか。

III 中世・近世の文化関係史料 <標準>

問1オ 問2ア 問3イ 問4ア 問5ウ

問6ウ 問7ア 問8エ 問9オ 問10イ

問11オ 問12エ・カ 問13ウ 問14オ・カ 問15エ 問16イ

4つの史料はどれも未見史料だが、設問文にヒントが隠されていて、何の史料か判別できる。推測で解く問題が多く、また、文化史の人物の時期をしっかりと把握していないと解けない問題も目立つ。ここで大きく点差が開いただろう。しかし、これでも、難問と言えるのは問10だけである。

IV 近代の植民地政策 <標準>

問1オ 問2カ 問3イ 問4エ 問5オ

問6ウ 問7ウ 問8オ 問9イ 問10イ

問11ウ・エ 問12イ 問13オ 問14ア・ウ 問15ア・カ 問16 エ

これまた早大入試定番のテーマからの出題。受験会場で思わず笑った人もいただろう。問2は「ア」ではない、あくまでも「○」は遼東半島を指していなければならぬはずだ。それは「エ」の「○」の位置からも言えることである。問7・10・14がやや難しい。問15は、設問条件を考えると「ア」を正解とすることに疑問もあるが、これしか選びようがない。

講評

正誤問題が非常に多く、正確な知識が問われている問題が多い。どれくらいきちんと対策を取っていたかでかなり点差がついたであろう。以上の、大問別の難易度を見て、自分の感覚よりも易しい表示の大問があったら、今までの学習水準を考え直す必要がある。